

【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の7種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の1.または2.に該当した場合とする。

1. 主治医（担当医）以外のサーベイランス担当医、感染症専門医（あるいは感染制御チーム等）が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

【解説】

1. データ提出医療機関数

2023 年年報（2023 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 1,016 医療機関であり、前年より 80 医療機関増加した。これは国内 8,156 医療機関の 12.5%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

まず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年、2021 年と減少していた総入院患者数は 2022 年から増加に転じ、2023 年は前年と比べて 315,369 人増加（5.8%増）し 5,740,981 人となった（ただし、2019 年の総入院患者数 5,981,681 人と比べると、まだ 240,700 人少ない）。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 16,996 人（前年に比べて 1,401 人の増加）であった。このうち MRSA は 15,939 人（93.8%）を占め、次いで CRE 633 人（3.7%）、PRSP 326 人（1.9%）、MDRP 75 人（0.4%）、VRE 22 人（0.1%）、MDRA 1 人（0.01%）であった。

新規感染症発症患者数は、MRSA は 1,149 人増（7.8%増）、PRSP は 148 人増（83.2%増）、MDRP は 15 人増（25.0%増）、CRE は 92 人増（17.0%増）であり、減少したのは VRE の 2 人減（8.3%減）と MDRA の 1 人減（50.0%）であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、（総入院患者数-継続感染症患者数）を分母とした罹患率は、MRSA では 2.78%、CRE 0.11%、PRSP 0.06%、MDRP 0.01%であった。なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA では 1.8 : 1、PRSP 1.5 : 1、MDRP 5.3 : 1、CRE 1.9 : 1 であった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳以上が全体の 75.1%を占めていた。薬剤耐性菌別では、MRSA、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 19.9%が 10 歳未満であった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 40.1%と最も多くを占め、中でも PRSP は 81.3%が呼吸器系検体であった。同様に MRSA と MDRP も 40.1%、40.0%と呼吸器系検体が最も多かった。CRE ではその他の検体が 29.9%を占めていたが、次に血液検体で 24.0%を占めていた。（その他の検体の内訳については、巻末資料「資料 1」を参照のこと）

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 35.4%を占めた。中でも PRSP では肺炎が 73.0%、肺炎以外の呼吸器感染症が 10.1%であった。MRSA では肺炎が 35.4%と最も多く、次いで菌血症 23.4%、皮膚・軟部組織感染 15.4%、尿路感染症 6.6%の順で報告された。MDRP では肺炎が 34.7%と最も多く、次いで尿路感染症 22.7%、菌血症 14.7%の順で報告された。CRE では尿路感染症が 23.9%と最も多く、次いで消化器系感染が 20.7%、菌血症 19.6%の順で報告された。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 48.4%、外科系 38.5%、小児科系 2.4%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 48.4%、外科系 38.7%、MDRP は内科系 56.0%、外科系 34.7%、PRSP は内科系 54.9%、次いで小児科系 21.5%、外科系は 12.0%であった。CRE は唯一外科系の割合が高く、内科系 43.0%、外科系 48.0%であった。

2023 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 40 医療機関は集計対象外とした。

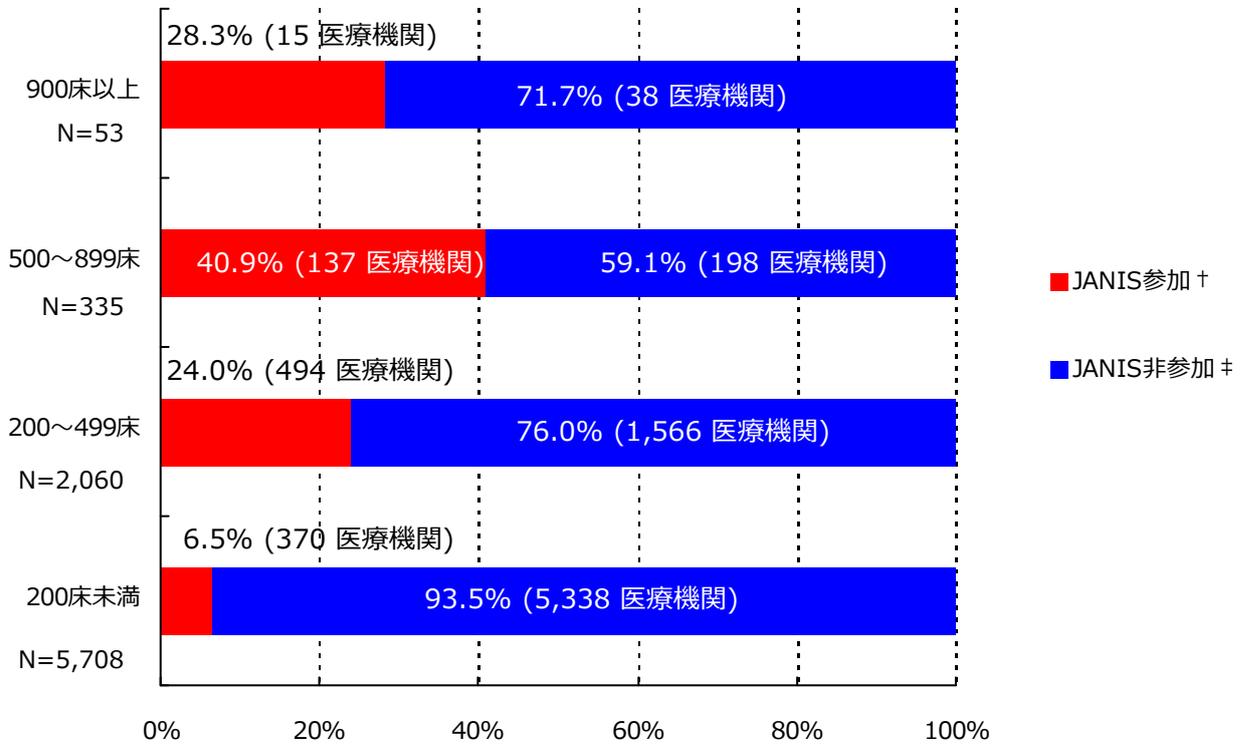
下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 10 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している（極値）

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

1. データ提出医療機関*数(1,016医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 全国医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 全国医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	53	15 (28.3%)
500～899床	335	137 (40.9%)
200～499床	2,060	494 (24%)
200床未満	5,708	370 (6.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,156	1,016 (12.5%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	242	15,022	2.79%	0.00 2.42 ----- 52.71
2022年	936	5,425,612	218	14,790	2.73%	0.00 2.37 ----- 50.90
2023年	1,016	5,740,981	244	15,939	2.78%	0.00 2.52 ----- 106.67

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	1	33	0.01%	0.00 0.00 ----- 1.73
2022年	936	5,425,612	0	24	0.00%	0.00 0.00 ----- 1.52
2023年	1,016	5,740,981	0	22	0.00%	0.00 0.00 ----- 1.31

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	0	186	0.03%	0.00 0.00 37.88
2022年	936	5,425,612	0	178	0.03%	0.00 0.00 7.58
2023年	1,016	5,740,981	0	326	0.06%	0.00 0.00 29.63

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	1	79	0.01%	0.00 0.00 5.13
2022年	936	5,425,612	2	60	0.01%	0.00 0.00 1.85
2023年	1,016	5,740,981	2	75	0.01%	0.00 0.00 6.67

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.13
2022年	936	5,425,612	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.16
2023年	1,016	5,740,981	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	923	5,382,661	1	481	0.09%	0.00 0.00 10.58
2022年	936	5,425,612	2	541	0.10%	0.00 0.00 3.46
2023年	1,016	5,740,981	3	633	0.11%	0.00 0.00 4.13

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

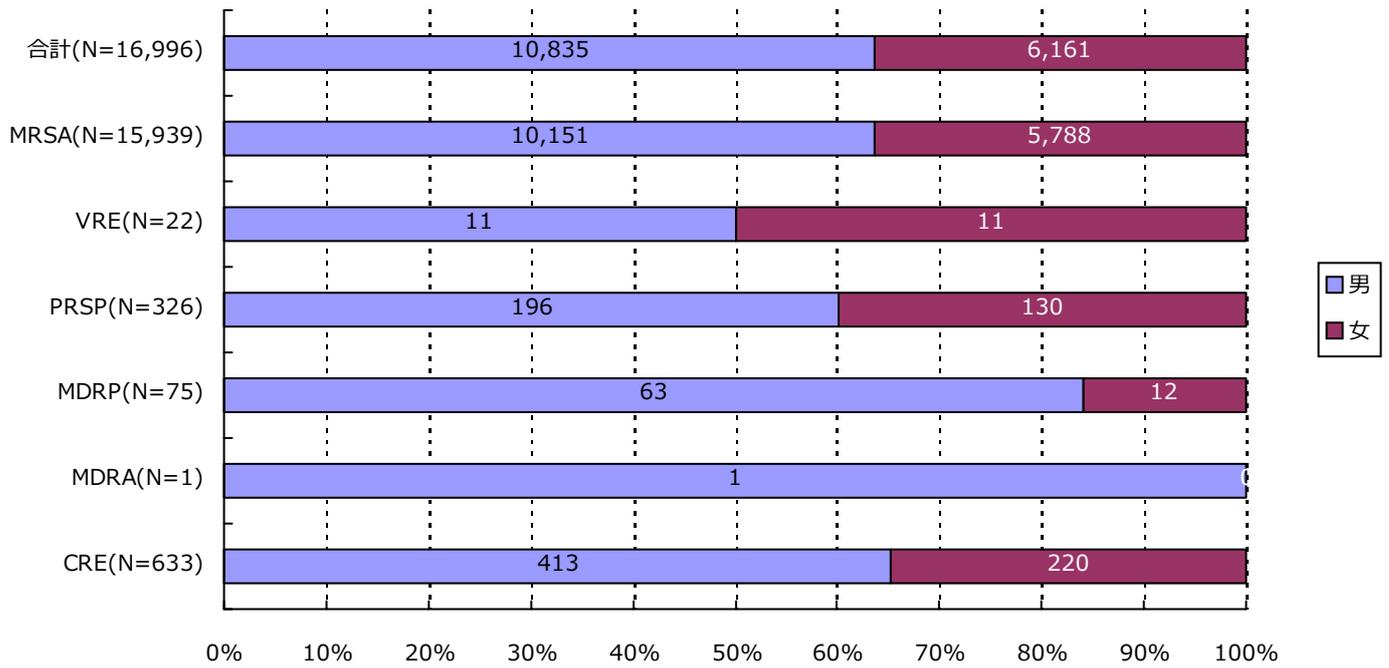
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

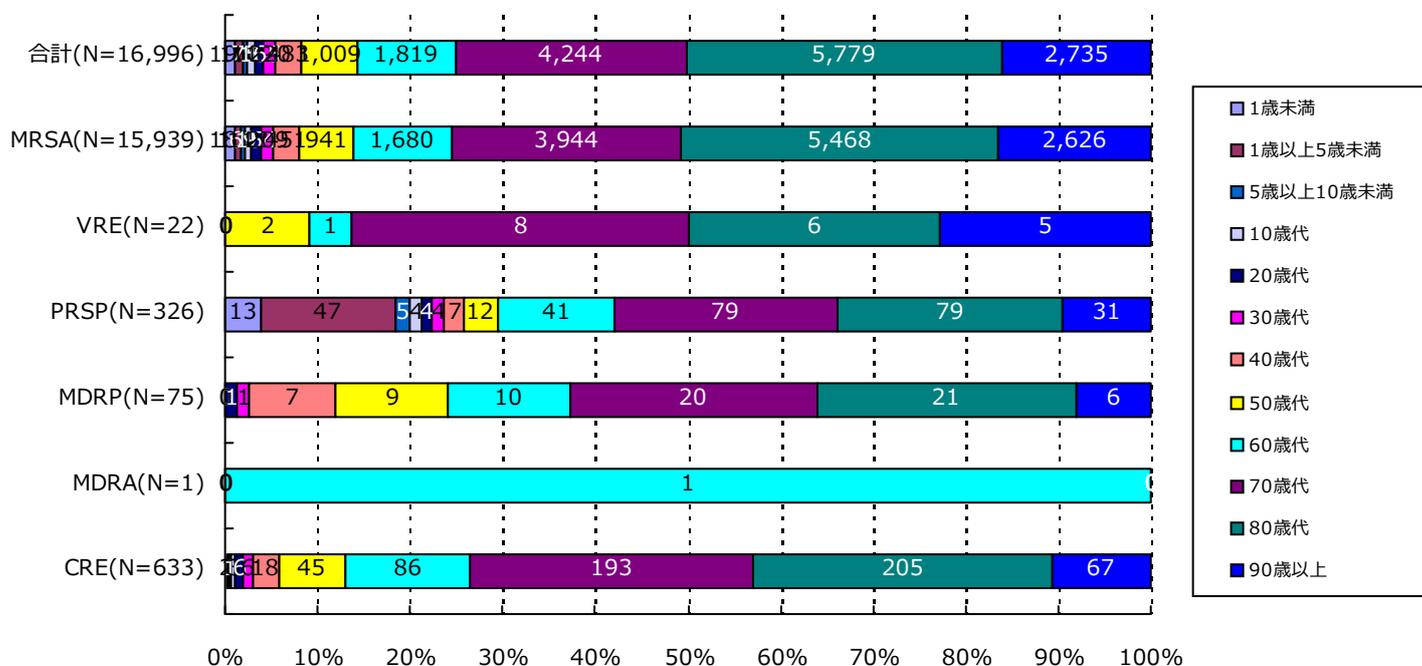
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



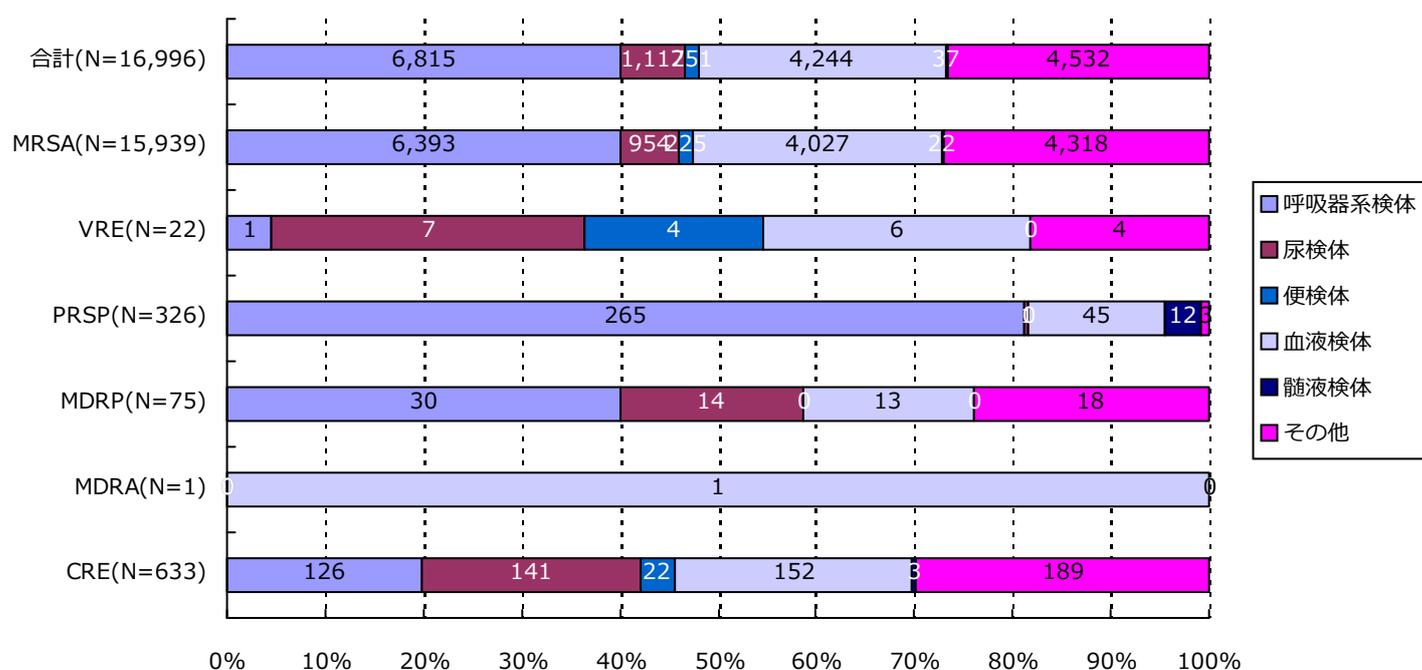
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	10,835 (63.8%)	10,151 (63.7%)	0 (-)	11 (50.0%)	196 (60.1%)	63 (84.0%)	1 (100.0%)	413 (65.2%)
女	6,161 (36.2%)	5,788 (36.3%)	0 (-)	11 (50.0%)	130 (39.9%)	12 (16.0%)	0 (-)	220 (34.8%)
合計	16,996	15,939	0	22	326	75	1	633

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	198(1.2%)	183(1.1%)	0(-)	0(-)	13(4.0%)	0(-)	0(-)	2(0.3%)
1歳以上5歳未満	150(0.9%)	102(0.6%)	0(-)	0(-)	47(14.4%)	0(-)	0(-)	1(0.2%)
5歳以上10歳未満	75(0.4%)	69(0.4%)	0(-)	0(-)	5(1.5%)	0(-)	0(-)	1(0.2%)
10歳代	119(0.7%)	112(0.7%)	0(-)	0(-)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
20歳代	165(1.0%)	154(1.0%)	0(-)	0(-)	4(1.2%)	1(1.3%)	0(-)	6(0.9%)
30歳代	220(1.3%)	209(1.3%)	0(-)	0(-)	4(1.2%)	1(1.3%)	0(-)	6(0.9%)
40歳代	483(2.8%)	451(2.8%)	0(-)	0(-)	7(2.1%)	7(9.3%)	0(-)	18(2.8%)
50歳代	1,009(5.9%)	941(5.9%)	0(-)	2(9.1%)	12(3.7%)	9(12.0%)	0(-)	45(7.1%)
60歳代	1,819(10.7%)	1,680(10.5%)	0(-)	1(4.5%)	41(12.6%)	10(13.3%)	1(100.0%)	86(13.6%)
70歳代	4,244(25.0%)	3,944(24.7%)	0(-)	8(36.4%)	79(24.2%)	20(26.7%)	0(-)	193(30.5%)
80歳代	5,779(34.0%)	5,468(34.3%)	0(-)	6(27.3%)	79(24.2%)	21(28.0%)	0(-)	205(32.4%)
90歳以上	2,735(16.1%)	2,626(16.5%)	0(-)	5(22.7%)	31(9.5%)	6(8.0%)	0(-)	67(10.6%)
合計	16,996	15,939	0	22	326	75	1	633

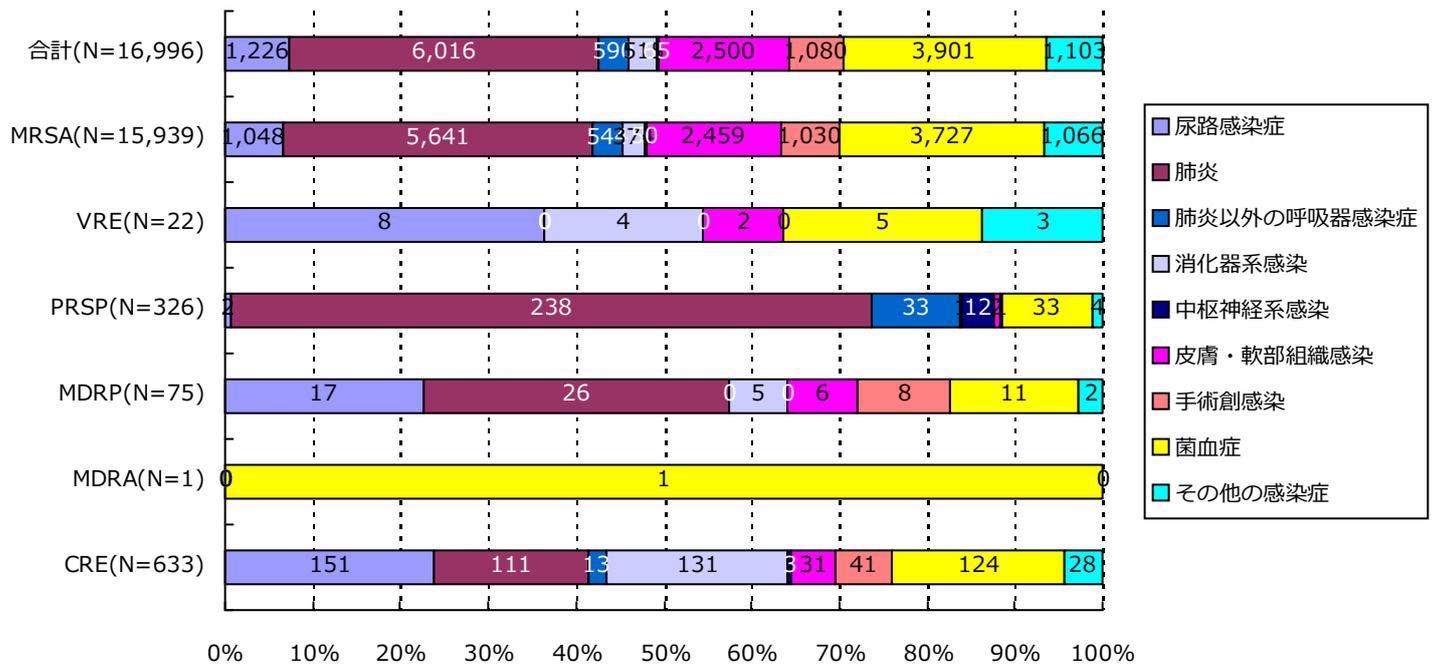
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	6,815(40.1%)	6,393(40.1%)	0(-)	1(4.5%)	265(81.3%)	30(40.0%)	0(-)	126(19.9%)
尿検体	1,117(6.6%)	954(6.0%)	0(-)	7(31.8%)	1(0.3%)	14(18.7%)	0(-)	141(22.3%)
便検体	251(1.5%)	225(1.4%)	0(-)	4(18.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	22(3.5%)
血液検体	4,244(25.0%)	4,027(25.3%)	0(-)	6(27.3%)	45(13.8%)	13(17.3%)	1(100.0%)	152(24.0%)
髄液検体	37(0.2%)	22(0.1%)	0(-)	0(-)	12(3.7%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
その他	4,532(26.7%)	4,318(27.1%)	0(-)	4(18.2%)	3(0.9%)	18(24.0%)	0(-)	189(29.9%)
合計	16,996	15,939	0	22	326	75	1	633

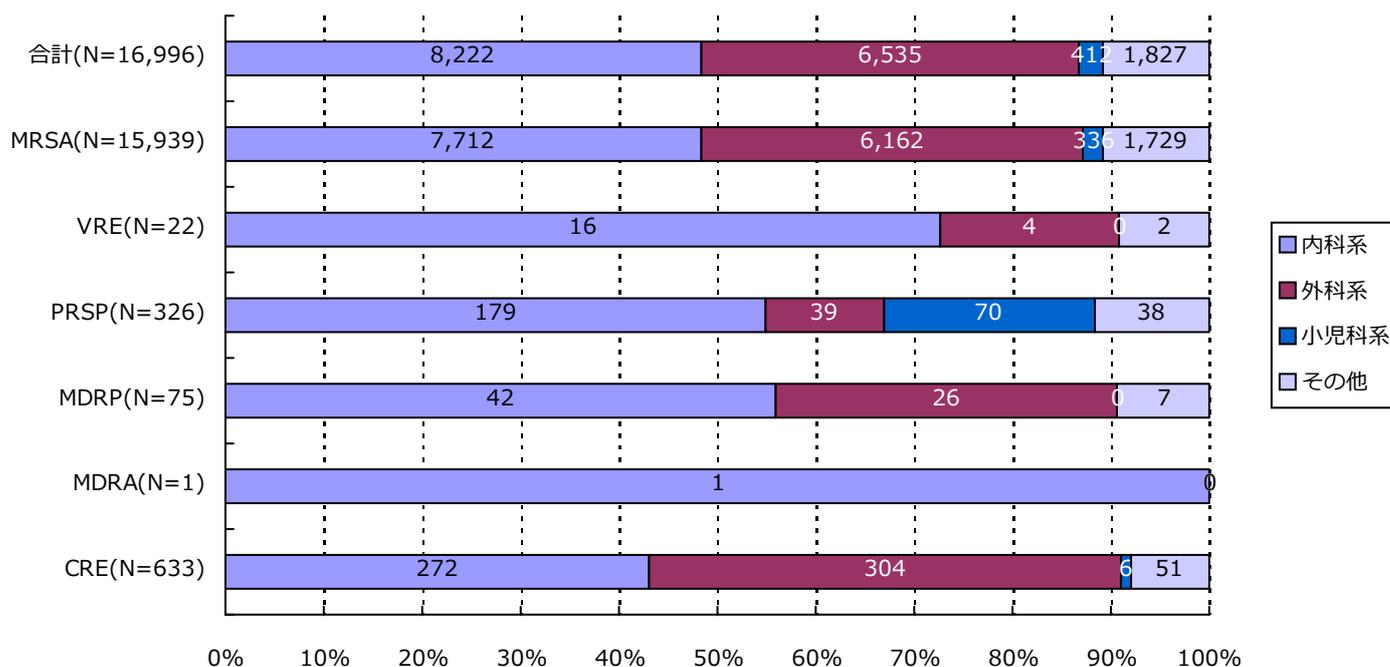
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	1,226(7.2%)	1,048(6.6%)	0(-)	8(36.4%)	2(0.6%)	17(22.7%)	0(-)	151(23.9%)
肺炎	6,016(35.4%)	5,641(35.4%)	0(-)	0(-)	238(73.0%)	26(34.7%)	0(-)	111(17.5%)
肺炎以外	590(3.5%)	544(3.4%)	0(-)	0(-)	33(10.1%)	0(-)	0(-)	13(2.1%)
消化器系	515(3.0%)	374(2.3%)	0(-)	4(18.2%)	1(0.3%)	5(6.7%)	0(-)	131(20.7%)
中枢神経系	65(0.4%)	50(0.3%)	0(-)	0(-)	12(3.7%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
皮膚・軟部	2,500(14.7%)	2,459(15.4%)	0(-)	2(9.1%)	2(0.6%)	6(8.0%)	0(-)	31(4.9%)
手術創	1,080(6.4%)	1,030(6.5%)	0(-)	0(-)	1(0.3%)	8(10.7%)	0(-)	41(6.5%)
菌血症	3,901(23.0%)	3,727(23.4%)	0(-)	5(22.7%)	33(10.1%)	11(14.7%)	1(100.0%)	124(19.6%)
その他	1,103(6.5%)	1,066(6.7%)	0(-)	3(13.6%)	4(1.2%)	2(2.7%)	0(-)	28(4.4%)
合計	16,996	15,939	0	22	326	75	1	633

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	8,222(48.4%)	7,712(48.4%)	0(-)	16(72.7%)	179(54.9%)	42(56.0%)	1(100.0%)	272(43.0%)
外科系	6,535(38.5%)	6,162(38.7%)	0(-)	4(18.2%)	39(12.0%)	26(34.7%)	0(-)	304(48.0%)
小児科系	412(2.4%)	336(2.1%)	0(-)	0(-)	70(21.5%)	0(-)	0(-)	6(0.9%)
その他	1,827(10.7%)	1,729(10.8%)	0(-)	2(9.1%)	38(11.7%)	7(9.3%)	0(-)	51(8.1%)
合計	16,996	15,939	0	22	326	75	1	633

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL†かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)、多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) の 7 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の 1. または 2. に該当した場合とする。

1. 主治医 (担当医) 以外のサーベイランス担当医、感染症専門医 (あるいは感染制御チーム等) が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床以上の 2023 年年報 (2023 年 1 月～12 月) 集計対象医療機関数は 646 施設であり、前年より 13 施設増加した。これは国内の 200 床以上の医療機関 2,448 施設の 26.4%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

まず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年、2021 年と減少していた総入院患者数は 2022 年から増加に転じ、2023 年は前年と比べて 232,178 人増加(4.8%増)して 5,098,875 人となった(ただし、2019 年の総入院患者数 5,398,819 人と比べると、まだ 299,944 人少ない)。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 14,256 人 (前年に比べて 754 人の増加)であった。このうち MRSA は 13,277 人 (93.1%) を占め、次いで CRE 606 人 (4.3%)、PRSP 294 人 (2.1%)、MDRP 63 人 (0.4%)、VRE 15 人 (0.1%)、MDRA 1 人 (0.01%) であった。

新規感染症発症患者数は、MRSA は 520 人増 (4.1%増)、PRSP は 126 人増 (75.0%増)、CRE は 104 人増 (20.7%増)、MDRP 7 人増 (12.5%増) であり、減少したのは VRE 2 人減 (11.8%減)、MDRA 1 人減 (50.0%減) であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、(総入院患者数-継続感染症患者数) を分母とした罹患率は、MRSA では 2.60 %、CRE 0.12%、PRSP 0.06%、MDRP 0.01%であった。なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比に関しても、MRSA は 1.8 : 1、PRSP は 1.6 : 1、MDRP は 6 : 1、CRE は 1.9 : 1 と男性が高かった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は 70 歳代以上が全体の 72.6%を占めていた。薬剤耐性菌別では MRSA、VRE、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 21.4%が 10 歳未満であった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 36.8%と最も多くを占め、中でも PRSP は 79.6%が呼吸器系検体であった。MRSA、MDRP でも同様に呼吸器系検体が 36.7%、38.1%と最も多かった。CRE ではその他の検体が 30.2%を占めていたが、次に血液検体で 24.6%を占めていた。(その他の検体の内訳については、巻末資料「資料 1」を参照のこと)

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は肺炎が最も多く 32.9%を占めた。中でも PRSP では肺炎が 72.1%、肺炎以外の呼吸器感染症が 9.5%であった。MRSA では肺炎が 32.8%と最も多く、次いで菌血症 25.7%、皮膚・軟部組織感染 16.4%、手術創感染 6.9%の順で報告された。MDRP では肺炎が 34.9%と最も多く、次いで尿路感染症が 19.0%であった。CRE では尿路感染症が 23.3%と最も多く、次いで消化器系感染が 21.3%、菌血症 20.3%であった。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 45.4%、外科系 40.5%、小児科系 2.8%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 45.3%、外科系 40.9%、MDRP は内科系 52.4%、外科系 36.5%、PRSP は内科系 54.1%、次いで小児科系 21.4%、外科系は 12.2%であった。CRE は唯一外科系の割合が高く、内科系 42.7%、外科系 48.2%であった。

2023 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 11 医療機関は集計対象外とした。

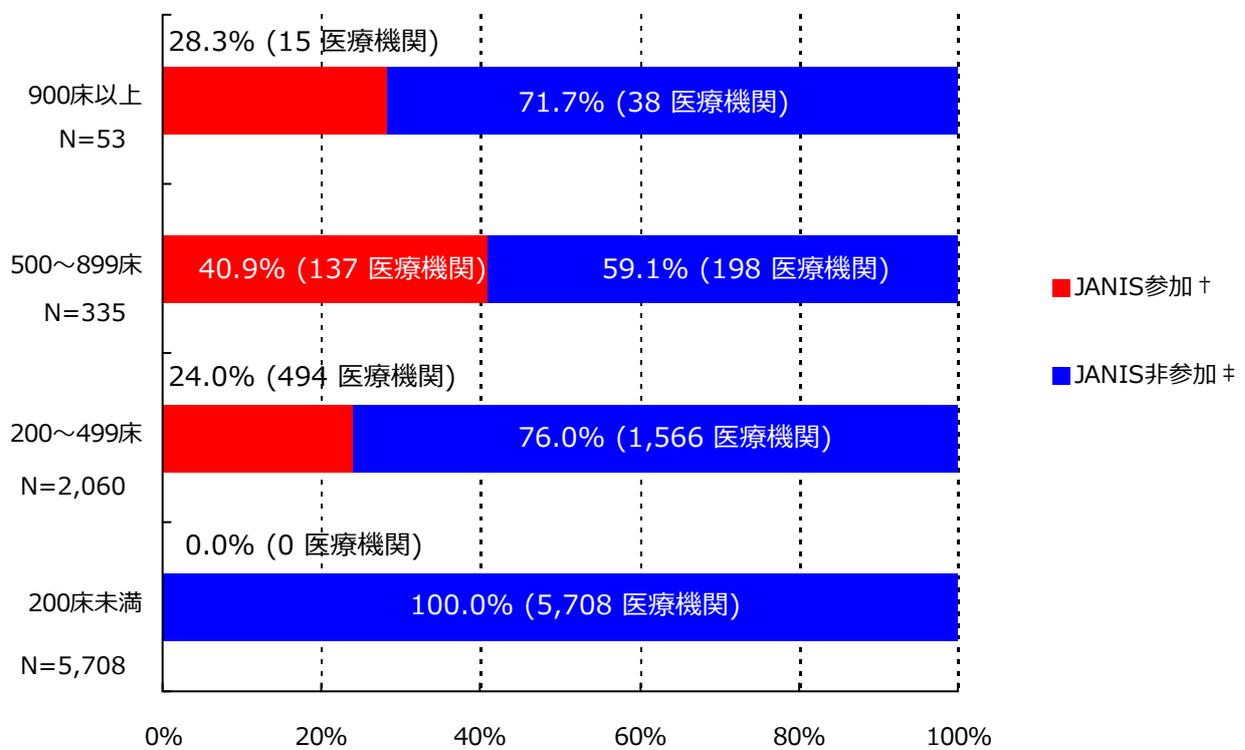
下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 1 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告。
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない。
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している(極値)。

公開情報 2023年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

1. データ提出医療機関*数(646医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 全国医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 全国医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	53	15 (28.3%)
500～899床	335	137 (40.9%)
200～499床	2,060	494 (24%)
200床未満	5,708	0 (0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,156	646 (7.9%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	627	4,824,195	0	177	0.04%	0.00 0.00 1.20
2022年	633	4,866,697	0	168	0.03%	0.00 0.00 1.31
2023年	646	5,098,875	0	294	0.06%	0.00 0.00 1.60

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	627	4,824,195	1	73	0.02%	0.00 0.00 2.66
2022年	633	4,866,697	2	56	0.01%	0.00 0.00 1.49
2023年	646	5,098,875	1	63	0.01%	0.00 0.00 1.41

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	627	4,824,195	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.13
2022年	633	4,866,697	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.16
2023年	646	5,098,875	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	627	4,824,195	1	455	0.09%	0.00 0.00 2.34
2022年	633	4,866,697	2	502	0.10%	0.00 0.00 3.46
2023年	646	5,098,875	2	606	0.12%	0.00 0.00 4.13

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

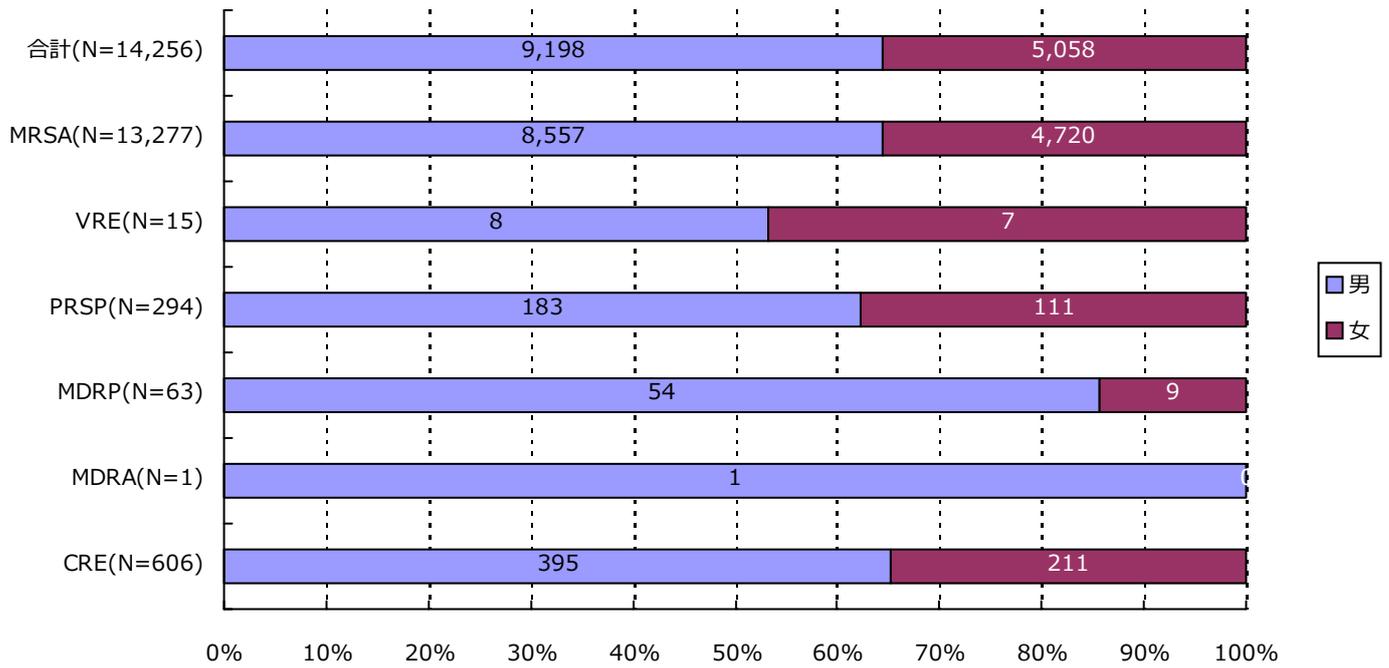
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

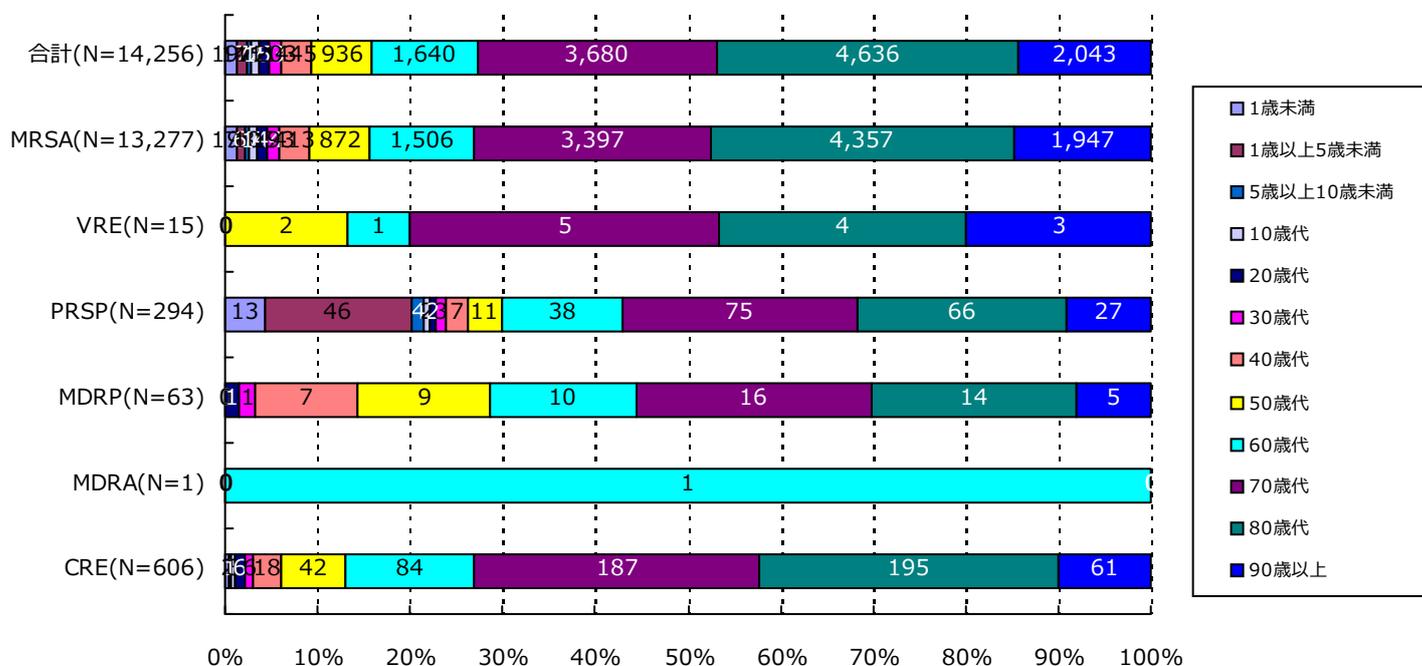
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



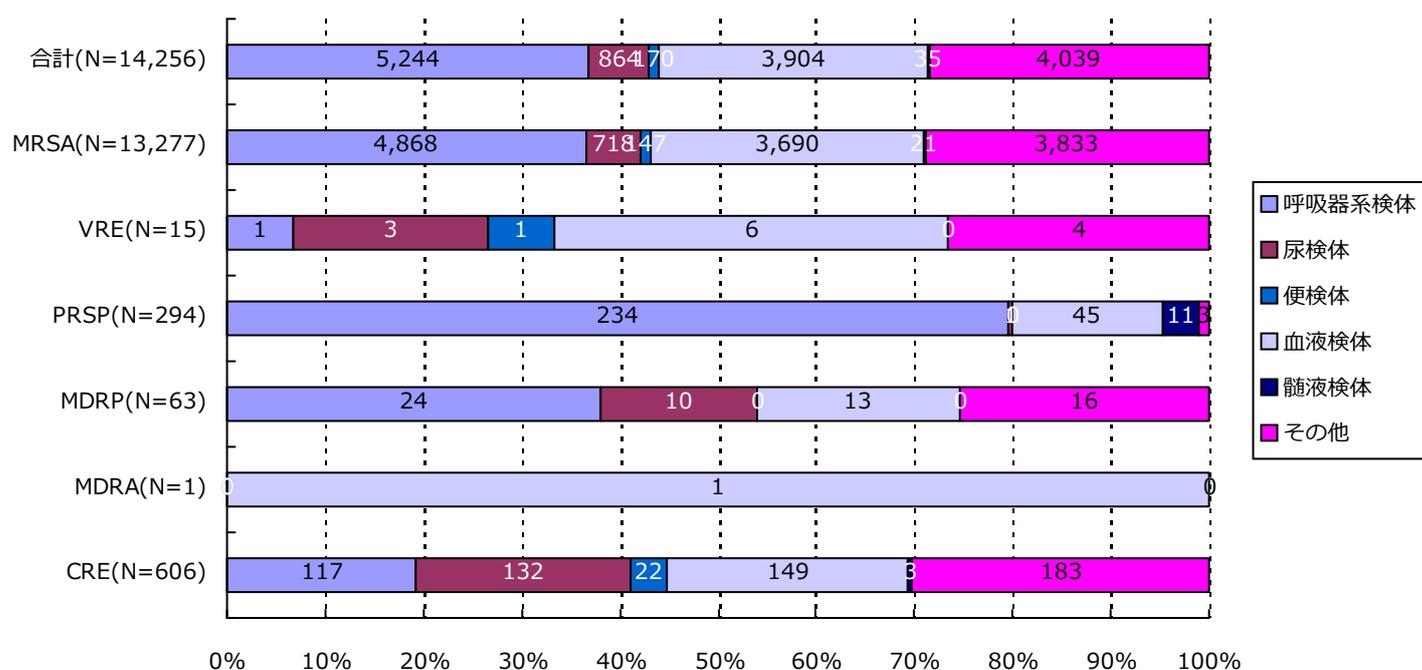
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	9,198 (64.5%)	8,557 (64.4%)	0 (-)	8 (53.3%)	183 (62.2%)	54 (85.7%)	1 (100.0%)	395 (65.2%)
女	5,058 (35.5%)	4,720 (35.6%)	0 (-)	7 (46.7%)	111 (37.8%)	9 (14.3%)	0 (-)	211 (34.8%)
合計	14,256	13,277	0	15	294	63	1	606

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	192(1.3%)	177(1.3%)	0(-)	0(-)	13(4.4%)	0(-)	0(-)	2(0.3%)
1歳以上5歳未満	145(1.0%)	98(0.7%)	0(-)	0(-)	46(15.6%)	0(-)	0(-)	1(0.2%)
5歳以上10歳未満	72(0.5%)	67(0.5%)	0(-)	0(-)	4(1.4%)	0(-)	0(-)	1(0.2%)
10歳代	111(0.8%)	106(0.8%)	0(-)	0(-)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
20歳代	153(1.1%)	144(1.1%)	0(-)	0(-)	2(0.7%)	1(1.6%)	0(-)	6(1.0%)
30歳代	203(1.4%)	193(1.5%)	0(-)	0(-)	3(1.0%)	1(1.6%)	0(-)	6(1.0%)
40歳代	445(3.1%)	413(3.1%)	0(-)	0(-)	7(2.4%)	7(11.1%)	0(-)	18(3.0%)
50歳代	936(6.6%)	872(6.6%)	0(-)	2(13.3%)	11(3.7%)	9(14.3%)	0(-)	42(6.9%)
60歳代	1,640(11.5%)	1,506(11.3%)	0(-)	1(6.7%)	38(12.9%)	10(15.9%)	1(100.0%)	84(13.9%)
70歳代	3,680(25.8%)	3,397(25.6%)	0(-)	5(33.3%)	75(25.5%)	16(25.4%)	0(-)	187(30.9%)
80歳代	4,636(32.5%)	4,357(32.8%)	0(-)	4(26.7%)	66(22.4%)	14(22.2%)	0(-)	195(32.2%)
90歳以上	2,043(14.3%)	1,947(14.7%)	0(-)	3(20.0%)	27(9.2%)	5(7.9%)	0(-)	61(10.1%)
合計	14,256	13,277	0	15	294	63	1	606

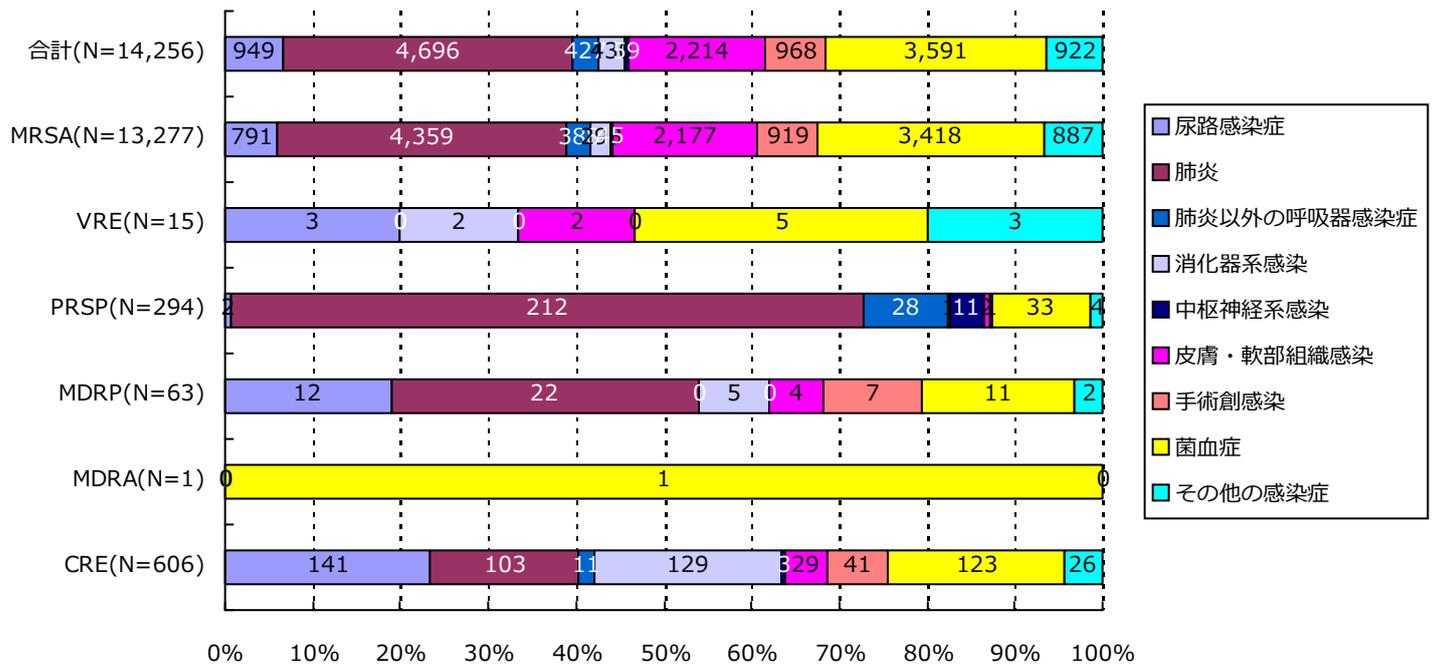
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	5,244(36.8%)	4,868(36.7%)	0(-)	1(6.7%)	234(79.6%)	24(38.1%)	0(-)	117(19.3%)
尿検体	864(6.1%)	718(5.4%)	0(-)	3(20.0%)	1(0.3%)	10(15.9%)	0(-)	132(21.8%)
便検体	170(1.2%)	147(1.1%)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	22(3.6%)
血液検体	3,904(27.4%)	3,690(27.8%)	0(-)	6(40.0%)	45(15.3%)	13(20.6%)	1(100.0%)	149(24.6%)
髄液検体	35(0.2%)	21(0.2%)	0(-)	0(-)	11(3.7%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
その他	4,039(28.3%)	3,833(28.9%)	0(-)	4(26.7%)	3(1.0%)	16(25.4%)	0(-)	183(30.2%)
合計	14,256	13,277	0	15	294	63	1	606

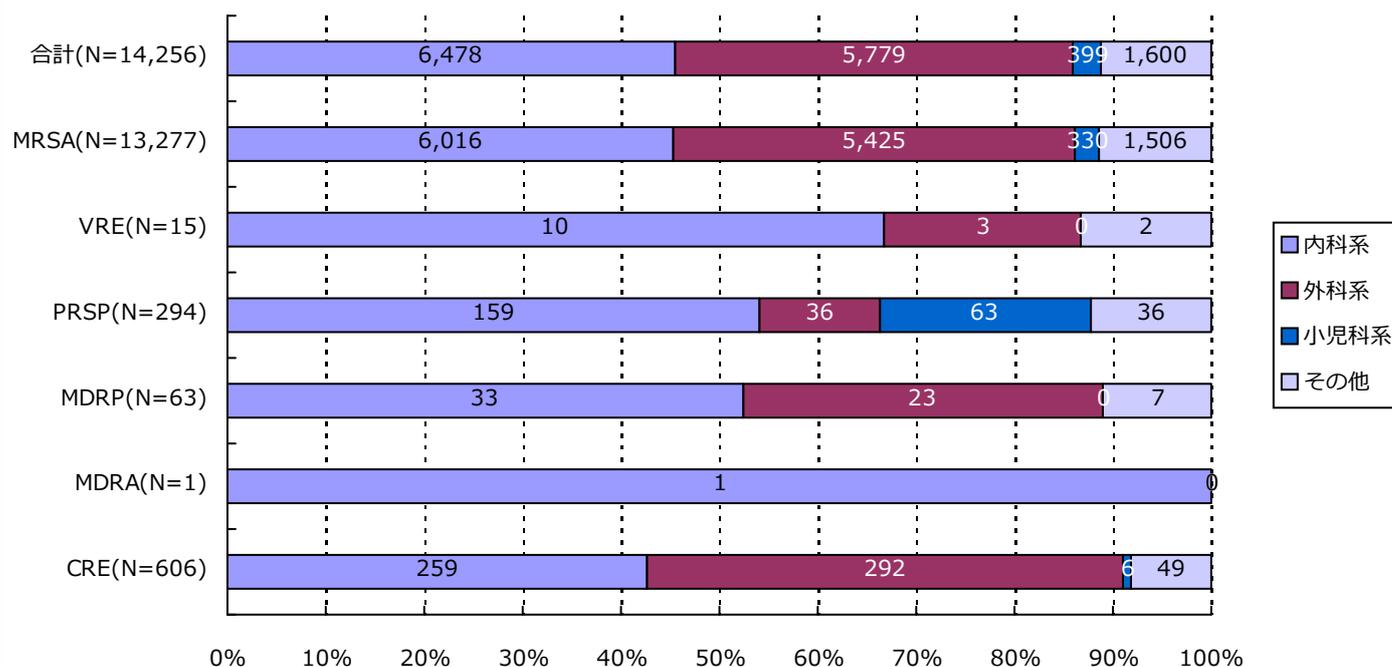
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	949(6.7%)	791(6.0%)	0(-)	3(20.0%)	2(0.7%)	12(19.0%)	0(-)	141(23.3%)
肺炎	4,696(32.9%)	4,359(32.8%)	0(-)	0(-)	212(72.1%)	22(34.9%)	0(-)	103(17.0%)
肺炎以外	427(3.0%)	388(2.9%)	0(-)	0(-)	28(9.5%)	0(-)	0(-)	11(1.8%)
消化器系	430(3.0%)	293(2.2%)	0(-)	2(13.3%)	1(0.3%)	5(7.9%)	0(-)	129(21.3%)
中枢神経系	59(0.4%)	45(0.3%)	0(-)	0(-)	11(3.7%)	0(-)	0(-)	3(0.5%)
皮膚・軟部	2,214(15.5%)	2,177(16.4%)	0(-)	2(13.3%)	2(0.7%)	4(6.3%)	0(-)	29(4.8%)
手術創	968(6.8%)	919(6.9%)	0(-)	0(-)	1(0.3%)	7(11.1%)	0(-)	41(6.8%)
菌血症	3,591(25.2%)	3,418(25.7%)	0(-)	5(33.3%)	33(11.2%)	11(17.5%)	1(100.0%)	123(20.3%)
その他	922(6.5%)	887(6.7%)	0(-)	3(20.0%)	4(1.4%)	2(3.2%)	0(-)	26(4.3%)
合計	14,256	13,277	0	15	294	63	1	606

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	6,478(45.4%)	6,016(45.3%)	0(-)	10(66.7%)	159(54.1%)	33(52.4%)	1(100.0%)	259(42.7%)
外科系	5,779(40.5%)	5,425(40.9%)	0(-)	3(20.0%)	36(12.2%)	23(36.5%)	0(-)	292(48.2%)
小児科系	399(2.8%)	330(2.5%)	0(-)	0(-)	63(21.4%)	0(-)	0(-)	6(1.0%)
その他	1,600(11.2%)	1,506(11.3%)	0(-)	2(13.3%)	36(12.2%)	7(11.1%)	0(-)	49(8.1%)
合計	14,256	13,277	0	15	294	63	1	606

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL†かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠



【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)、多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) の 7 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の 1. または 2. に該当した場合とする。

1. 主治医 (担当医) 以外のサーベイランス担当医、感染症専門医 (あるいは感染制御チーム等) が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す



【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床未満の 2023 年年報 (2023 年 1 月～12 月) 集計対象医療機関数は 370 施設であり、前年より 67 施設増加した。これは国内の 200 床未満の医療機関 5,708 施設の 6.5%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

まず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年、2021 年と減少していた総入院患者数は 2022 年から増加に転じ、2023 年は 642,106 人であった。これは前年と比べて 83,191 人の増加 (14.9%増) であり、感染拡大前の 2019 年の総入院患者数 582,862 人と比べても 59,244 人の増加であった。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 2,740 人であった。これは前年と比べて 647 人増加 (30.9%増) した。このうち MRSA は 2,662 人 (97.2%) を占め、次いで PRSP 32 人 (1.2%)、CRE 27 人 (1.0%)、MDRP 12 人 (0.4%)、VRE 7 人 (0.3%) であった。

新規感染症発症患者数が前年に比べて減少したのは CRE のみであり、12 人減 (30.8%減) であった。他の薬剤耐性菌については、MRSA は 629 人の増加 (30.9%増)、PRSP は 22 人の増加 (220.0%増)、MDRP は 8 人の増加 (200.0%増)、VRE は昨年と同じであった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、(総入院患者数-継続感染症患者数) を分母とした罹患率は、MRSA では 4.15%、PRSP 0.05%、CRE 0.04%、MDRP 0.02%、VRE 0.01%であった。なお、MDRA、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比は MRSA では 1.5 : 1、MDRP では 3 : 1、CRE は 2 : 1 であった。PRSP は 1 : 1.5、VRE は 1 : 1.3 と女性が多かった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳代以上が全体の 87.6%を占めていた。薬剤耐性菌別では、MRSA、VRE、PRSP、MDRP、CRE のいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 6.2%が 10 歳未満であった。



5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 57.3%と最も多くを占め、中でも PRSP は 96.9%が呼吸器系検体であった。MRSA と MDRP でも呼吸器系検体が 57.3%と 50.0%で最も多かったが、VRE では尿検体が 57.1%と最も多く、CRE では呼吸器系検体と尿検体が 33.3%で同率だった。

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 48.2%を占めていた。中でも PRSP では肺炎が 81.3%、肺炎以外の呼吸器感染症が 15.6%で、呼吸器感染症が 96.9%を占めた。MRSA では肺炎が 48.2%と最も多く、次いで菌血症 11.6%、皮膚・軟部組織感染 10.6%の順で報告された。MDRP は尿路感染症が 41.7%と最も多く、次いで肺炎 33.3%、CRE も尿路感染症が 37.0%、肺炎 29.6%の順で報告された。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 63.6%、外科系 27.6%、小児科系 0.5%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 63.7%、外科系 27.7%、MDRP は内科系 75.0%、外科系 25.0%、CRE は内科系 48.1%、外科系 44.4%といずれも内科系が多かった。

PRSP は内科系 62.5%、外科系 9.4%、小児科系 21.9%と外科系より小児科系が多かった。

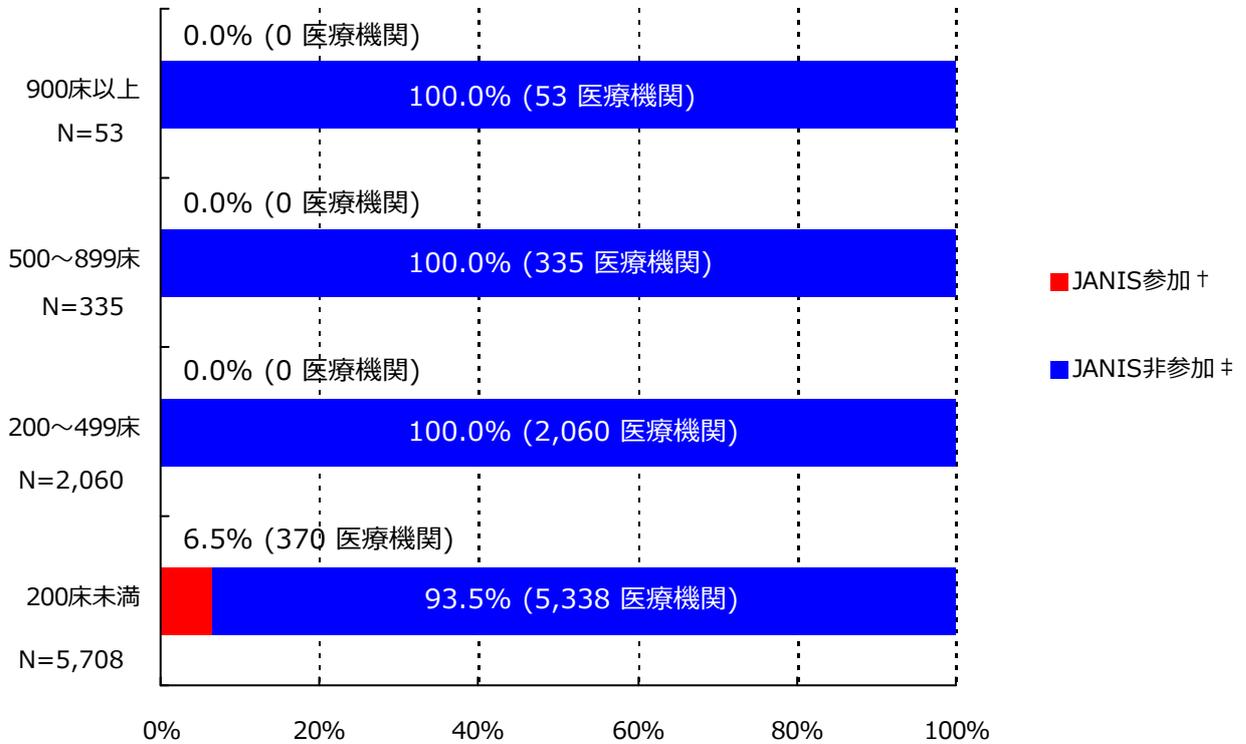
2023 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 29 医療機関は集計対象外とした。

下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 9 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告。
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない。
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している（極値）。

1. データ提出医療機関*数(370医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 全国医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 全国医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	53	0 (0%)
500～899床	335	0 (0%)
200～499床	2,060	0 (0%)
200床未満	5,708	370 (6.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,156	370 (4.5%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	296	558,466	32	2,019	3.62%	0.00 2.86 ----- 52.71
2022年	303	558,915	30	2,033	3.64%	0.00 2.59 ----- 50.90
2023年	370	642,106	55	2,662	4.15%	0.00 3.37 ----- 106.67

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	296	558,466	0	13	0.02%	0.00 0.00 ----- 1.73
2022年	303	558,915	0	7	0.01%	0.00 0.00 ----- 1.52
2023年	370	642,106	0	7	0.01%	0.00 0.00 ----- 0.70

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	296	558,466	0	9	0.02%	0.00 0.00 37.88
2022年	303	558,915	0	10	0.02%	0.00 0.00 7.58
2023年	370	642,106	0	32	0.05%	0.00 0.00 29.63

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	296	558,466	0	6	0.01%	0.00 0.00 5.13
2022年	303	558,915	0	4	0.01%	0.00 0.00 1.85
2023年	370	642,106	1	12	0.02%	0.00 0.00 6.67

2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	296	558,466	0	26	0.05%	0.00 0.00 10.58
2022年	303	558,915	0	39	0.07%	0.00 0.00 3.23
2023年	370	642,106	1	27	0.04%	0.00 0.00 3.94

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

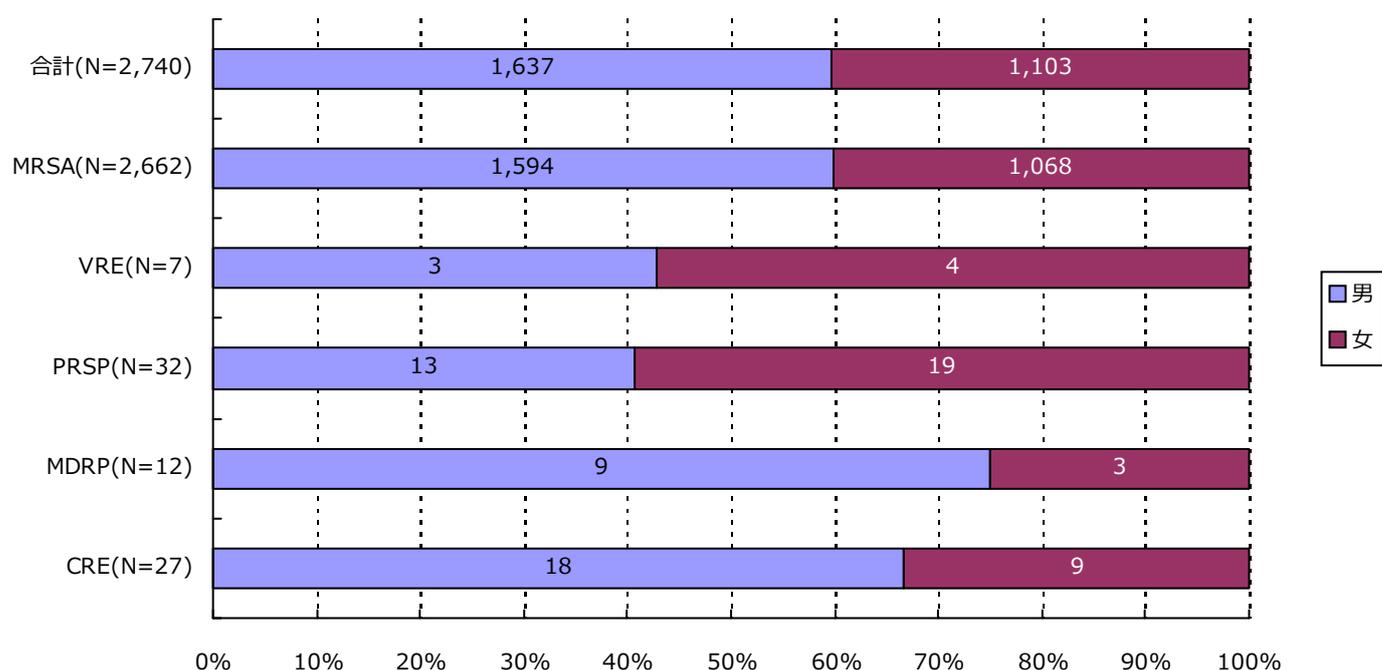
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

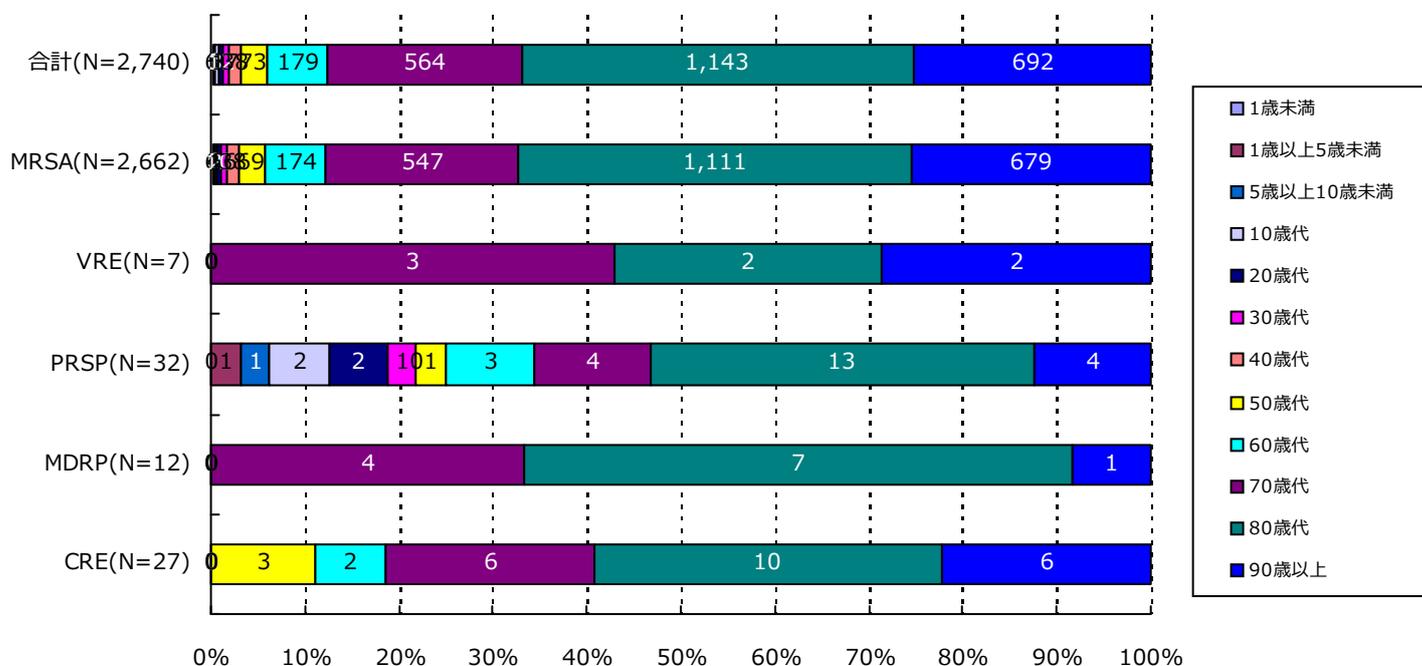
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



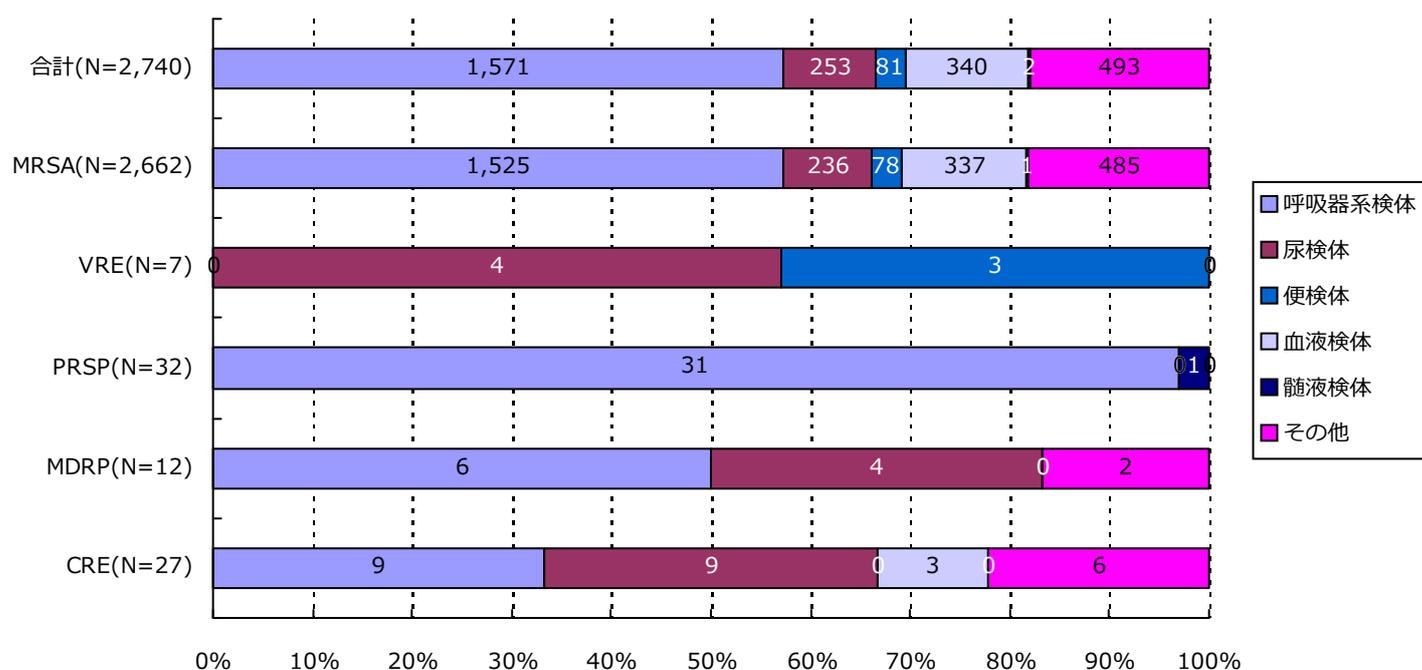
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	1,637(59.7%)	1,594(59.9%)	0(-)	3(42.9%)	13(40.6%)	9(75.0%)	0(-)	18(66.7%)
女	1,103(40.3%)	1,068(40.1%)	0(-)	4(57.1%)	19(59.4%)	3(25.0%)	0(-)	9(33.3%)
合計	2,740	2,662	0	7	32	12	0	27

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(0.2%)	6(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(0.2%)	4(0.2%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.1%)	2(0.1%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	8(0.3%)	6(0.2%)	0(-)	0(-)	2(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	12(0.4%)	10(0.4%)	0(-)	0(-)	2(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	17(0.6%)	16(0.6%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	38(1.4%)	38(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	73(2.7%)	69(2.6%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	3(11.1%)
60歳代	179(6.5%)	174(6.5%)	0(-)	0(-)	3(9.4%)	0(-)	0(-)	2(7.4%)
70歳代	564(20.6%)	547(20.5%)	0(-)	3(42.9%)	4(12.5%)	4(33.3%)	0(-)	6(22.2%)
80歳代	1,143(41.7%)	1,111(41.7%)	0(-)	2(28.6%)	13(40.6%)	7(58.3%)	0(-)	10(37.0%)
90歳以上	692(25.3%)	679(25.5%)	0(-)	2(28.6%)	4(12.5%)	1(8.3%)	0(-)	6(22.2%)
合計	2,740	2,662	0	7	32	12	0	27

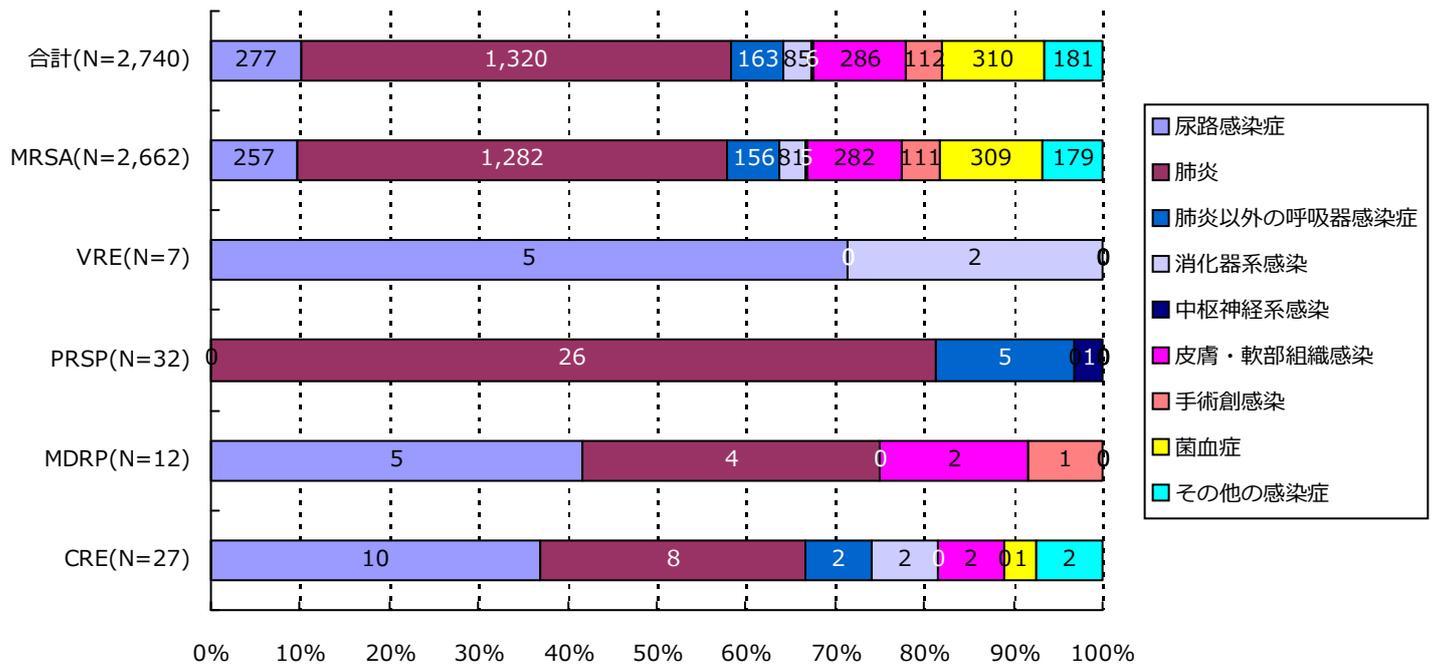
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	1,571(57.3%)	1,525(57.3%)	0(-)	0(-)	31(96.9%)	6(50.0%)	0(-)	9(33.3%)
尿検体	253(9.2%)	236(8.9%)	0(-)	4(57.1%)	0(-)	4(33.3%)	0(-)	9(33.3%)
便検体	81(3.0%)	78(2.9%)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	340(12.4%)	337(12.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(11.1%)
髄液検体	2(0.1%)	1(0.0%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	493(18.0%)	485(18.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	6(22.2%)
合計	2,740	2,662	0	7	32	12	0	27

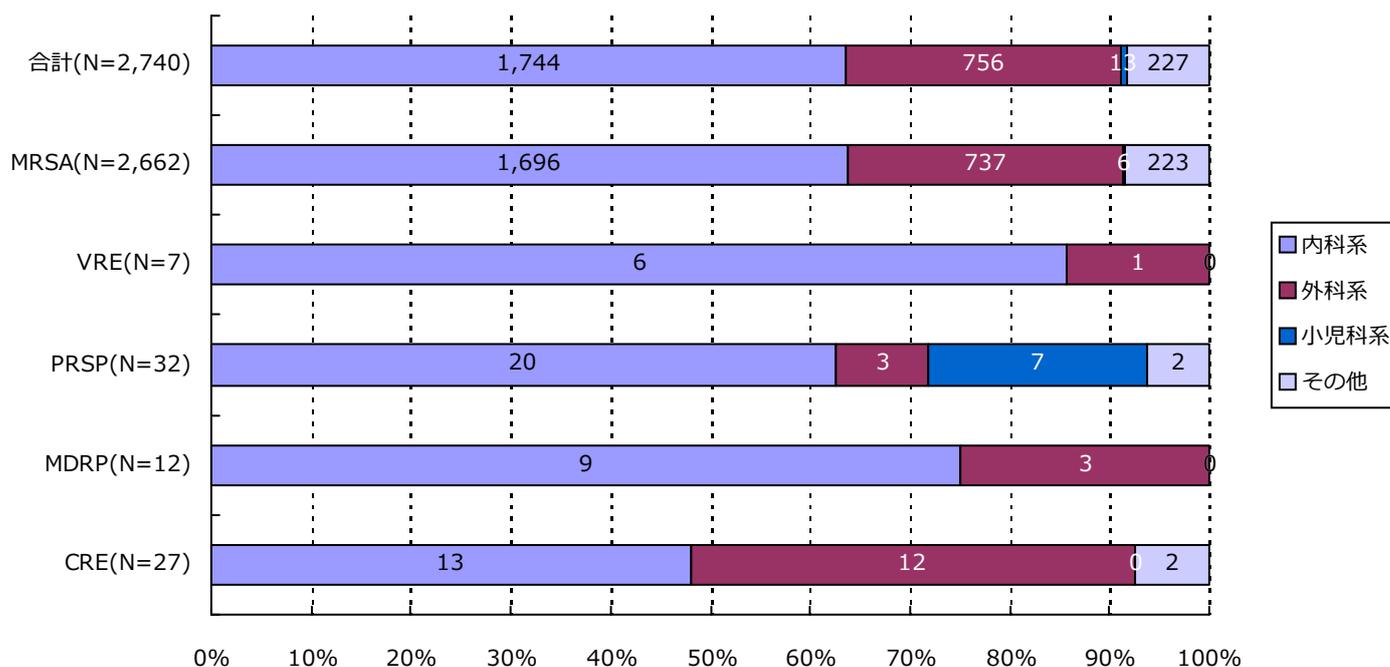
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	277(10.1%)	257(9.7%)	0(-)	5(71.4%)	0(-)	5(41.7%)	0(-)	10(37.0%)
肺炎	1,320(48.2%)	1,282(48.2%)	0(-)	0(-)	26(81.3%)	4(33.3%)	0(-)	8(29.6%)
肺炎以外	163(5.9%)	156(5.9%)	0(-)	0(-)	5(15.6%)	0(-)	0(-)	2(7.4%)
消化器系	85(3.1%)	81(3.0%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(7.4%)
中枢神経系	6(0.2%)	5(0.2%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	286(10.4%)	282(10.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)	0(-)	2(7.4%)
手術創	112(4.1%)	111(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)	0(-)	0(-)
菌血症	310(11.3%)	309(11.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.7%)
その他	181(6.6%)	179(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(7.4%)
合計	2,740	2,662	0	7	32	12	0	27

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	1,744(63.6%)	1,696(63.7%)	0(-)	6(85.7%)	20(62.5%)	9(75.0%)	0(-)	13(48.1%)
外科系	756(27.6%)	737(27.7%)	0(-)	1(14.3%)	3(9.4%)	3(25.0%)	0(-)	12(44.4%)
小児科系	13(0.5%)	6(0.2%)	0(-)	0(-)	7(21.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	227(8.3%)	223(8.4%)	0(-)	0(-)	2(6.3%)	0(-)	0(-)	2(7.4%)
合計	2,740	2,662	0	7	32	12	0	27

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL†かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠